

目次

平成26年版 労働経済の分析 人材力の最大発揮に向けて

はじめに	1
第1章 労働経済の推移と特徴	3
第1節 一般経済、雇用・失業、労働時間の動向	5
1 一般経済の動向	5
2 雇用・失業、労働時間の動向	9
3 障害者の雇用状況	28
4 外国人の雇用状況	29
第2節 物価、賃金の動向	31
1 物価の動向	31
2 賃金の動向	35
3 賃金の上昇を可能とする環境の整備に向けて	42
第3節 勤労者家計の動向	49
第4節 地域の雇用・賃金の動向	57
第5節 労使関係の動向	64
1 2013年の春季労使交渉をめぐる動向	64
2 2014年の春季労使交渉をめぐる動向	65
3 労働組合の組織率等の動向	66
第2章 企業における人材マネジメントの動向と課題	71
第1節 市場環境の変化と労働市場への影響	73
1 グローバル化、ITを始めとする技術革新の進展、 市場の不確実性の増大が雇用に与える影響	73
2 個々の企業が置かれる環境と人材活用の状況	88
第2節 我が国の企業の人材マネジメントの変化と特徴	90
1 景気後退局面における雇用調整の手法の変化	90
2 雇用形態別の人材マネジメントの特徴	94
第3節 人材育成の現状と課題	119
第4節 企業パフォーマンスの向上と中核的人材の育成に向けた 人材マネジメントの課題	130
1 人材マネジメントと企業のパフォーマンス	130
2 中核的人材の育成に向けた課題	139

第3章

職業生涯を通じたキャリア形成 147

第1節 我が国における職業キャリアの現状 149

- 1 継続就業者の職業キャリアの現状 149
- 2 離転職状況の推移と転職者の特徴 157
- 3 円滑な労働移動のために 169

第2節 生涯における出来事と職業キャリア 179

- 1 離職、就業希望と生涯における出来事 179
- 2 出産・育児と就業 182
- 3 介護と就業 190
- 4 高齢化と就業 195

第3節 労働者のキャリアアップに向けた課題 201

まとめ

..... 217

- 1 労働経済の推移と特徴 219
- 2 企業における人材マネジメントの動向と課題 220
- 3 職業生涯を通じたキャリア形成 222

付 注

..... 225

- 1 各種調査の概要について 227
- 2 管理職層の職業経験及び能力・資質に関する因子分析の結果について 228
- 3 世代ごとにみた継続就業率の計算方法について 230
- 4 賃金関数について 232
- 5 30歳台有配偶女性の労働力率を高める要因について 233
- 6 プロビット分析について 234

付属統計表

..... 237

図表索引 280

付属統計表索引 283

コラム索引

1-1	短時間雇用者の増加について	17
1-2	構造的・摩擦的失業率の動向	19
1-3	就業地別の求人数を用いた有効求人倍率	24
1-4	経済の好循環実現に向けた動き	48
1-5	政府目標の1,000万人を超えた訪日外国人観光客数	52
1-6	春季労使交渉の歴史	68
2-1	キャリア・コンサルティング	129
2-2	戦略分野における人材の確保・育成	136
3-1	女性の管理職登用	186
3-2	仕事と介護の両立に向けて	195
3-3	就業継続と健康	199
3-4	夜型就業の増加とその背景	214